（様式－3）

送電線工事災害報告書（暫定再発防止対策）

中国　支部

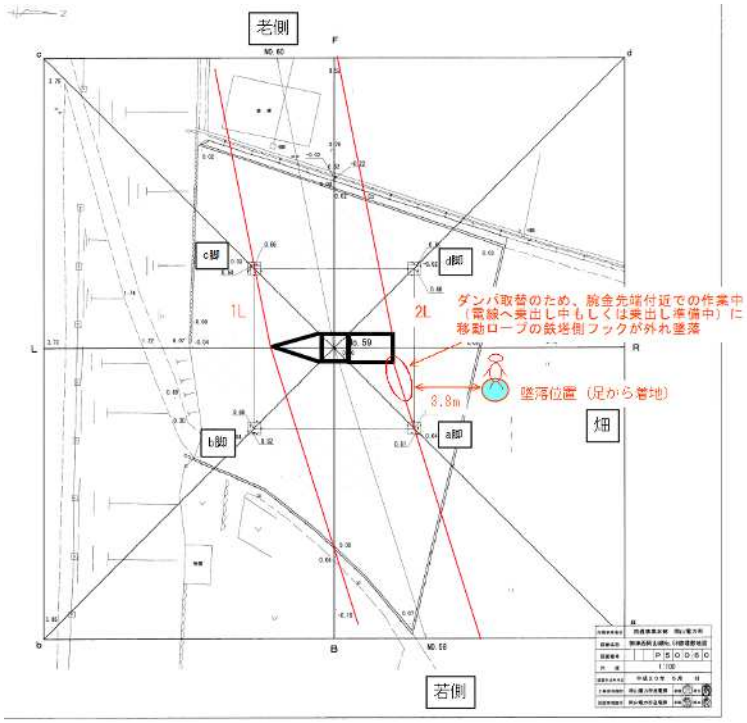
発生日時	令和６年　２月　２日（金曜日）　１４時２０分							天候	晴れ	
災害の程度	死亡　名	負傷　１名	職種　電工		年令２５才				経験年数　３年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	(その他)
災害の種類	(墜落)・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	(その他)			
設備	電圧　66kV	2回線	電線TACSR　330mm^2　単導体	地線 AC　70mm^2　条 地線　mm^2　条						

災害の状況	［件　名］　鉄塔腕金先端付近移動中に移動ロープの鉄塔側フックがはずれ墜落
	［作業内容］　ダンパ取替の準備作業（腕金先端付近で移動中）
	8:30頃　現場代理人ほか14名は現地でTBM-KYを実施した後、3班に分かれて各鉄塔に出発した。
	13:00頃　昼食後にTBM-KYを実施後、各班作業を再開した。
	14:07頃　現場代理人ほか14名は№59に集合後、作業着手した。
	14:20頃　被災者はダンパ取替作業のため、中線の鉄塔腕金先端付近で移動中（推定）に、移動ロープの鉄塔側フックが外れて地上に墜落（高さ：約42m）
	14:35頃　救急車が現場へ到着し、被災者を病院へ搬送した。
原因及び対策	**【原因】**
	・フック式移動ロープのフック外れ止め対策の必要性を認識しておらず、対策品が外れた状態の対策未実施のものを使用した。
	・被災者は、移動ロープのフック外れ事象の実地体験を踏まえた教育を受けておらず危険感受性が低かった。
	・ライン管理者は対策品が頻繁に外れることを認識しておらず、現場管理者および協力会社に現場でのフック式移動ロープ対策品の継続的な確認を指示していなかった。
	・アーム上で移動ロープを使用する場合、二重防護の決まりが無かった。
	【暫定対策】
	・移動ロープはフック外れ事象の対策品または改良品であることを使用前点検表で確認する。対策品または改良品以外は使用禁止とする。
	・本墜落災害事象および「フック式移動ロープのフック外れ事象に対する暫定対策品および仕様変更について」に関する教育を実施する。
	・アーム上で移動ロープを使用する場合は、二重防護とする。

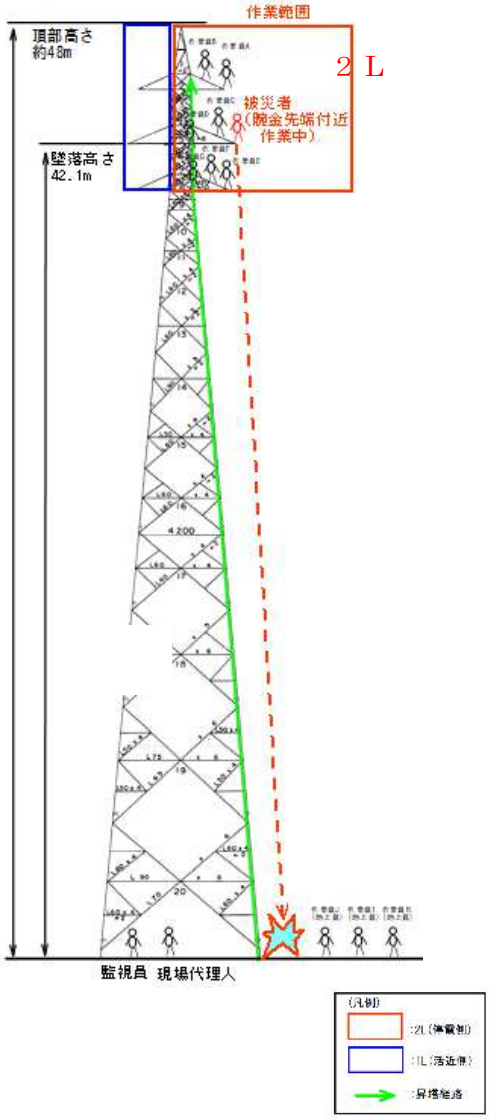
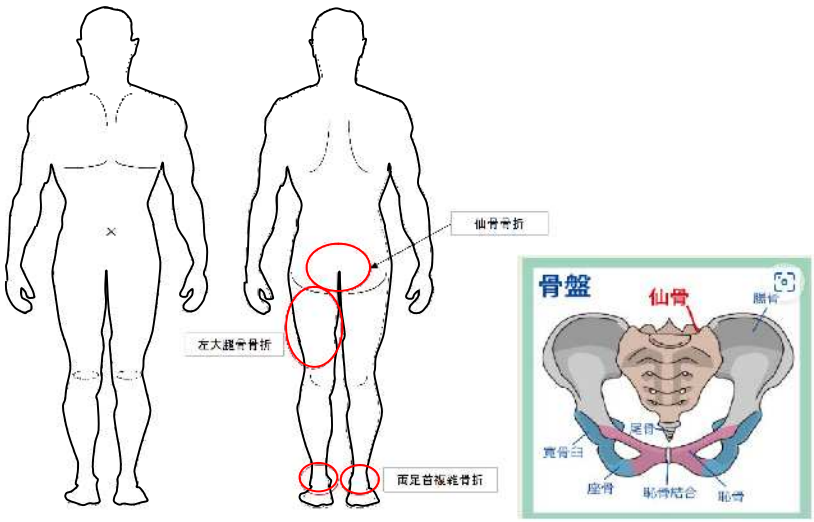
（注）1.　「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

2.　災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

【平面図】



【鉄塔構造図】



【身体図】